

# 平成26年度 定期作況報告

(8月20日)

地方独立行政法人  
北海道立総合研究機構  
中央農業試験場

# 水稻の部

水田農業G(岩見沢市)

## I 気象概況

7月下旬:平均気温は平年より1.0℃高く、降水量は平年の191%、日照時間は平年の139%であり、高温、多雨、多照に経過した。

8月上旬:平均気温は平年より0.6℃高く、降水量は平年の341%、日照時間は平年の95%であり、多雨に経過した。

8月中旬:平均気温は平年より0.9℃低く、降水量は平年の106%、日照時間は平年の93%であり、平年並に経過した。

以上、1ヶ月を通じ平均気温は平年より0.2℃高く、降水量は平年の187%、日照時間は平年の109%であり、多雨に経過した。

7月下旬～8月中旬気象表

項目	7月下旬			8月上旬			8月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	27.2	26.2	1.0	27.8	28.1	△ 0.3	25.9	27.1	△ 1.2	27.0	27.1	△ 0.1
最低気温(℃)	17.7	17.6	0.1	20.3	19.3	1.0	18.2	18.8	△ 0.6	18.7	18.6	0.1
平均気温(℃)	22.2	21.2	1.0	23.6	23.0	0.6	21.5	22.4	△ 0.9	22.4	22.2	0.2
降水量(mm)	58.5	30.6	27.9	112.5	33.0	79.5	68.5	64.7	3.8	239.5	128.3	111.2
日照時間(hr)	80.2	57.7	22.5	55.5	58.5	△ 3.0	48.1	51.8	△ 3.7	183.8	168.0	15.8

注)データは「アメダス岩見沢」を使用し、平年値は平成16～25年の10ヶ年平均値。

表中の気温は期間内の平均を示し、降水量と日照時間は期間内の積算値を示した。

## II 作 況

5月20日 やや良

事由:播種は平年より2日早い4月16日に行った。播種直後の4月4半旬はやや低温に経過したため、出芽始めまでに日数を要し、播種後6日目に出芽揃となった。その後は平年を上回る気温および日照時間で経過したため、苗の生育は進んだ。移植は平年並の5月20日に行った。

移植時における苗は、茎数は「きらら397」、「ななつぼし」ともに平年並であった。葉数は「きらら397」が3.6枚、「ななつぼし」が3.4枚で、それぞれ平年に比べ0.4枚、0.3枚多かった。草丈はそれぞれ10.4cm、11.8cmで平年比100%、113%と平年並から上回った。地上部乾物重はそれぞれ2.45g、2.62gで、平年比118%、126%であり、苗の充実度(地上部乾物重/草丈)はそれぞれ平年比118%、111%と、平年を上回った。すなわち、苗は平年に比べ葉数は多く、草丈は平年並から大きく、乾物重および充実度は優った。

以上により、5月20日時点の作況は、やや良である。

6月20日 やや良

事由:5月下旬から6月上旬にかけて高温、多照に経過したため、平年に比べ活着は順調で、初期分けつの発生が早く、旺盛であった。6月20日における草丈は、平年対比で「きらら397」、「ななつぼし」がそれぞれ131%、141%と平年を上回り、主稈葉数はそれぞれ平年より0.6、0.7葉多かった。茎数もそれぞれ135%、118%と平年を上回った。

以上により、6月20日時点の作況は、やや良である。

7月20日 やや良

事由:6月下旬から7月中旬にかけて、高温、多照に推移したことから、幼穂形成期は、平年対比で「きらら397」、「ななつぼし」とも6日早く、止葉始は「きらら397」で7日、「ななつぼし」で8日早かった。そのため、7月20日時点でいずれの品種も最高分けつ期、止葉期を過ぎていた。茎数は、「きらら397」、「ななつぼし」がそれぞれ平年対比115%、102%と上回り、止葉葉数は両品種とも0.2枚下回った。草丈は、平年対比で「きらら397」、「ななつぼし」がそれぞれ115%、110%と上回った。

以上により、7月20日時点の作況は、やや良である。

8月20日 やや良

事由:7月下旬は高温に推移し、出穂期は、平年対比で「きらら397」が8日、「ななつぼし」が9日いずれも早かった。稈長は、平年対比で「きらら397」、「ななつぼし」がそれぞれ102%、96%とほぼ平年並で、穂長は「きらら397」、「ななつぼし」がそれぞれ105%、99%と平年並から上回った。穂数は、平年対比で「きらら397」が117%、「ななつぼし」が106%と、上回った。

以上により、8月20日時点の作況は、やや良である。

項目	品種名・ 苗種 年次	きらら397 中苗			ななつぼし 中苗			ゆめぴりか 中苗(参考)			空育180号 (参考)
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年 (前5ヶ年)	比較	本年	
播種期	(月.日)	4.16	4.18	△ 2	4.16	4.18	△ 2	4.16	4.18	△ 2	4.16
移植期	(月.日)	5.20	5.20	0	5.20	5.20	0	5.20	5.20	0	5.20
幼穂形成期	(月.日)	6.29	7.05	△ 6	6.27	7.03	△ 6	6.27	7.04	△ 7	6.27
止葉始	(月.日)	7.11	7.18	△ 7	7.08	7.16	△ 8	7.09	7.16	△ 7	7.09
出穂期	(月.日)	7.23	7.31	△ 8	7.21	7.30	△ 9	7.21	7.29	△ 8	7.22
成熟期	(月.日)		9.21			9.17			9.17		
穂揃日数	(日)	8.0	5.8	2.2	7.0	6.2	0.8	8.0	6.4	1.6	7.0
登熟日数	(日)		52			49			50		
生育日数	(日)		156			152			152		
移植時地上部乾物重(g/100本)		2.45	2.08	0.37	2.62	2.08	0.54	2.35	2.12	0.23	2.92
草丈 (cm)	移植時	10.4	10.4	0.0	11.8	10.4	1.4	10.3	10.5	△ 0.2	12.4
	6月20日	32.6	24.9	7.7	36.6	25.9	10.7	35.6	27.1	8.5	39.5
	7月20日	71.3	62.2	9.1	75.4	68.8	6.6	75.9	69.6	6.3	76.8
茎数 (移植時:本/個体) (その他:本/㎡)	移植時	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0	1.1	1.0	0.1	1.0
	6月20日	440	327	113	375	319	56	488	328	160	355
	7月20日	908	787	121	823	805	18	960	837	123	893
主稈 葉数 (枚)	移植時	3.6	3.2	0.4	3.4	3.1	0.3	3.3	3.1	0.2	3.1
	6月20日	7.7	7.1	0.6	7.5	6.8	0.7	7.5	7.2	0.3	6.9
	7月20日	10.8	10.9	△ 0.1	10.1	10.2	△ 0.1	10.1	10.6	△ 0.5	9.2
	止葉	10.8	11.0	△ 0.2	10.1	10.3	△ 0.2	10.1	10.7	△ 0.6	9.2
稈長	(cm)	66.5	64.9	1.6	67.6	70.6	△ 3.0	65.7	68.7	△ 3.0	71.8
穂長	(cm)	17.3	16.5	0.8	16.4	16.5	△ 0.1	16.2	17.1	△ 0.9	16.4
穂数	(本/㎡)	810	690	120	763	723	40	893	734	159	833
一穂粒数	(粒)		47.4			52.3			45.0		
㎡当粒数	(百粒)		327			378			330		
稔実歩合	(%)		91.1			88.6			90.6		
登熟歩合	(%)		80.7			80.8			79.2		
籾摺歩合	(%)		76.7			76.8			75.3		
屑米歩合	(%)		6.2			6.5			7.7		
千粒重	(g)		23.0			21.9			22.8		
わら重	(kg/a)		61.6			69.6			64.7		
精籾重	(kg/a)		74.7			76.4			73.3		
精玄米重	(kg/a)		57.3			58.7			55.2		
収量平年対比	(%)		100			100			100		-
検査等級			2上			2上			2上		

注1)「きらら397」の平年値は前7ヶ年中、平成20年(最豊)、19年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2)「ななつぼし」の平年値は前7ヶ年中、平成23年(最豊)、19年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注3)平成21年より「ゆめぴりか」(中苗紙筒)の調査を開始した。

注4)本年より「空育180号」(中苗紙筒)の調査を開始した。

注5)「ほしのゆめ」(中苗紙筒)の調査は、平成24年で中止した。

注6)耕種概要

土 壤 : 細粒グライ土

施 肥 : 高度化成472全層施肥 N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=8.0-9.7-6.9 kg/10a

播 種 量 : 中苗紙筒=130cc/箱 栽植密度 : 30×13.3cm 25株/㎡ 4本植え

移植方法 : 手植え 反 復 : 2

注7)刈り取り面積は一区3.6㎡。精籾重、精玄米重は水分15%換算値。使用した篩目は1.9mm。

# 畑作の部

作物G(長沼町)

## I 気象概況

7月下旬:平均気温は平年より0.7℃高く、降水量は平年の169%、日照時間は平年の144%であり、多雨、多照に経過した。

8月上旬:平均気温は平年より0.4℃高く、降水量は平年の250%、日照時間は平年の102%であり、多雨に経過した。

8月中旬:平均気温は平年より1.4℃低く、降水量は平年の153%、日照時間は平年の93%であり、低温、多雨に経過した。

以上、1ヶ月を通じ平均気温は平年より0.1℃低く、降水量は平年の182%、日照時間は平年の114%であり、多雨、多照に経過した。

7月下旬～8月中旬気象表

項目	7月下旬			8月上旬			8月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	26.6	25.7	0.9	27.5	27.6	△0.1	25.2	26.7	△1.5	26.4	26.6	△0.2
最低気温(℃)	17.0	16.9	0.1	19.5	18.8	0.7	16.9	18.2	△1.3	17.8	17.9	△0.1
平均気温(℃)	21.4	20.7	0.7	22.9	22.5	0.4	20.6	22.0	△1.4	21.6	21.7	△0.1
降水量(mm)	59.0	34.9	24.1	74.0	29.6	44.4	80.5	52.7	27.8	213.5	117.2	96.3
降水日数(日)	5.0	1.9	3.1	6.0	2.1	3.9	2.0	2.8	△0.8	13.0	6.8	6.2
日照時間(hr)	71.7	49.8	21.9	52.5	51.5	1.0	41.3	44.3	△3.0	165.5	145.6	19.9

注1) 気象データはマメダス中央農試本場。欠測値および明らかな異常値はアメダス長沼で補正。

注2) 平年値は過去10年間の平均値。

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント

注5) △は減を示す。

## 1. 秋まき小麦(平成25年播種)

平成25年9月20日作況：平年並

事由：播種期は9月19日で平年より1日遅いが、安定した越冬のために必要な生育の確保には問題が無い播種時期である。

以上により、現在の作況は平年並である。

平成25年10月20日作況：平年並

事由：播種期は平年より1日遅いが、出芽は良好で、出芽期は平年より2日早い9月25日であった。10月上旬は気温が平年より高く推移したため生育は順調で、10月20日現在で草丈、茎数ともに平年をやや上回っている。

以上により、現在の作況は平年並である。

平成26年5月20日作況：平年並

事由：越冬前の生育は順調で、越冬前の茎数は平年を上回った。根雪終（融雪剤散布）は平年より2日早い3月30日で、積雪期間は平年より9日短い113日であった。雪腐病による冬損程度は平年並で、越冬後の茎数は平年をやや下回った。4月中旬は低温少雨に推移し、4月下旬以降は高温で推移したが干ばつ傾向が続いたため、草丈はやや短い。茎数は越冬以降平年より少なく推移しているが、5月20日現在で1224本/m<sup>2</sup>と十分な茎数を確保している。

以上により、現在の作況は平年並である。

平成26年6月20日作況：やや不良

事由：起生期以降、比較的高温で推移しているため生育が進み、出穂期は平年より5日早かった。6月上旬まで干ばつ傾向が続き、6月20日現在で草丈は短く、茎数が少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

平成26年7月20日作況：やや不良

事由：6月下旬から7月中旬にかけて降水日数、降水量ともに平年より少なく、干ばつ傾向で推移した。成熟期は平年より6日早く、成熟期における穂長は平年並であるが、稈長はやや短く、穂数は少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

平成26年8月20日作況：平年並

事由：成熟期における穂数が平年より少なかったものの、子実の充実は良好であり、容積重と千粒重が平年を上回り、子実重は平年並となった。

以上により、現在の作況は平年並である。

項目 \ 年次	品種名	きたほなみ		
		本年	平年	比較
播種期	(H25.月.日)	9.19	9.18	1
出芽期	(H25.月.日)	9.25	9.27	△ 2
出穂期	(H26.月.日)	6.2	6.7	△ 5
成熟期	(H26.月.日)	7.14	7.20	△ 6
冬損程度	(0:無~5:甚)	0.8	1.1	△ 0.3
草丈 (cm)	H25.10.20	20.2	17.1	3.1
	H26.5.20	41.1	46.5	△ 5.4
	H26.6.20	92.6	100.2	△ 7.6
茎数 (本/m <sup>2</sup> )	H25.10.20	601	589	12
	越冬前(11月)	1381	1165	216
	越冬後(4月)	1479	1816	△ 337
	H26.5.20	1224	1333	△ 109
	H26.6.20	645	792	△ 147
成熟期における	稈長 (cm)	85.5	89.8	△ 4.3
	穂長 (cm)	9.0	8.7	0.3
	穂数(本/m <sup>2</sup> )	640	723	△ 83
倒伏程度	(0:無~5:甚)	0.0	1.0	△ 1.0
子実重	(kg/10a)	755	729	25.6
容積重	(g/l)	831	804	26.7
千粒重	(g)	39.6	38.0	1.6
品質	(等級)		2等	
子実重平年対比	(%)	104	100	4

注1) 平年値: 前7か年中、平成25年(最凶)、平成19年(最豊)を除く5か年平均(収穫年度)。

注2) △は平年より早、短、少を表す。

注3) 倒伏程度: 成熟期における倒伏程度。

## 2. 春まき小麦

5月20日作況：平年並

事由：融雪剤使用圃場の根雪終は平年より2日早い3月30日であった。播種期は平年より1日早い4月16日で、4月下旬の平均気温が高かったため、出芽期は平年より2日早い4月29日となった。出芽後の5月上旬～中旬は気温が高く推移したため、草丈は平年を上回っている。一方、分けつはやや少なく、茎数は平年を下回っている。

以上により、現在の作況は平年並である。

6月20日作況：平年並

事由：前節に引き続き、6月上旬も気温が高く推移したため、生育が進み、出穂期は平年より8～9日早まった。草丈は、節間伸長が進んでいるため平年よりやや高い。茎数は、分けつの無効化が進んでいるため平年より少ない。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：不良

事由：平均気温が平年並みから高く推移したため、登熟は進んでおり、成熟期も早まると予想される。穂長は平年並みであるが、稈長は平年より短い。穂数は平年よりかなり少ない。

以上により、現在の作況は不良である。

8月20日作況：やや不良

事由：成熟期は平年より7～8日早かったが、登熟期間が平年より1日長かった。千粒重は平年を大きく上回り、リットル重も平年より重かった。穂数は平年比64～65%と少ないものの、子実重は「春よ恋」で平年比93%、「はるきらり」が102%であった。なお、倒伏は認められなかった。

以上により、現在の作況はやや不良である。

品種名		春よ恋			はるきらり		
項目	年次	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	4.16	4.17	△ 1	4.16	4.17	△ 1
出芽期	(月.日)	4.29	5.01	△ 2	4.29	5.02	△ 3
出穂期	(月.日)	6.11	6.19	△ 8	6.09	6.18	△ 9
成熟期	(月.日)	7.24	7.31	△ 7	7.25	8.02	△ 8
草丈	5月20日	22.9	19.2	3.7	26.6	21.2	5.4
(cm)	6月20日	86	80	7	84	80	4
茎数	5月20日	558	602	△ 44	519	570	△ 51
(本/m <sup>2</sup> )	6月20日	634	764	△ 130	671	727	△ 56
7月20日 稈長	(cm)	87	94	△ 7	80	92	△ 12
または 穂長	(cm)	8.4	8.5	△ 0.1	7.4	7.9	△ 0.4
成熟期 の 穂数	(本/m <sup>2</sup> )	335	522	△ 187	335	516	△ 181
子実重	(kg/10a)	452	486	△ 34	480	471	9
千粒重	(g)	44.8	39.2	5.6	46.8	42.7	4.1
リットル重	(g)	807	798	9	810	801	9
品質	(等級)		2			2	
子実重平年対比	(%)	93	100	△ 7	102	100	2

注) 平年値は前7カ年中、平成23年(最凶)、平成24年(最豊)を除く5カ年平均。

リットル重は1リットル升による測定。

### 3. 大豆

6月20日 平年並

事由：播種期は平年より1日早い5月21日で、出芽期は平年と同日であった。「トヨムスメ」の主茎長は平年よりやや長い、「スズマル」の主茎長および両品種の主茎節数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日 平年並

事由：開花期は平年より4～5日早かった。「トヨムスメ」の分枝数は平年より多いが、両品種の主茎長は平年よりやや短く、主茎節数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日 良

事由：主茎長は「トヨムスメ」が平年より短く、主茎節数は平年並であり、分枝数は「トヨムスメ」が平年より多い。着莢数は平年比118～137%と多い。

以上により、現在の作況は良である。

品種名 項目 \ 年次		トヨムスメ			スズマル		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.20	5.21	△ 1	5.20	5.21	△ 1
出芽期	(月.日)	6.2	6.2	0	6.2	6.2	0
開花期	(月.日)	7.10	7.14	△ 4	7.17	7.22	△ 5
成熟期	(月.日)		9.25			9.28	
主茎長 (cm)	6月20日	13.7	12.5	1.2	9.1	8.8	0.3
	7月20日	46.8	52.0	△ 5.2	38.8	42.1	△ 3.3
	8月20日	47.2	58.5	△ 11.3	65.2	64.8	0.4
	9月20日		58.7			65.1	
	成熟期		58.3			66.3	
主茎節数 (節)	6月20日	3.4	3.2	0.2	3.6	3.5	0.1
	7月20日	9.5	9.8	△ 0.3	11.8	12.1	△ 0.3
	8月20日	9.7	9.8	△ 0.1	14.6	14.3	0.3
	9月20日		9.9			13.7	
	成熟期		9.9			13.8	
分枝数 (本/株)	7月20日	8.2	6.3	1.9	8.2	8.8	△ 0.6
	8月20日	9.1	7.0	2.1	12.3	11.6	0.7
	9月20日		7.0			10.6	
	成熟期		6.7			9.9	
着莢数 (莢/株)	8月20日	94.1	68.8	25.3	171.6	145.1	26.5
	9月20日		62.8			127.8	
	成熟期		61.5			125.9	
一莢内粒数			1.81		2.47		
子実重 (kg/10a)			382		346		
百粒重 (g)			40.8		14.8		
屑粒率 (%)			2.0		1.5		
品質 (等級)			3中		3上		
子実重平年対比 (%)			100		100		

注) 平年値は前7カ年中、平成21年(最凶)、25年(最豊)を除く5カ年平均。

#### 4. 小豆

6月20日作況 やや良

事由：播種期は平年より1日遅い5月26日であったが、その後、気温が高く推移したため、出芽期は平年より1日早い6月10日であった。現在のところ、主茎長、主茎節数ともに平年を上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

7月20日作況 平年並

事由：6月下旬以降、気温が平年より高く推移したため、生育が進み、開花期は平年より5日早くなった。主茎長と主茎節数も平年を上回っているが、分枝数は平年より少ない。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日作況：やや良

事由：主茎長が平年より短く、分枝数も少ないが、主茎節数は平年より多い。7月下旬以降の降雨で干ばつ傾向が解消され、気温も平年並に経過したため開花、着莢は順調に進み、着莢数は平年を上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

品種名 項目 \ 年次		エリモショウズ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.26	5.25	1
出芽期	(月.日)	6.10	6.11	△ 1
開花期	(月.日)	7.18	7.23	△ 5
成熟期	(月.日)		9.04	
主茎長 (cm)	6月20日	4.2	3.7	0.5
	7月20日	25.2	24.3	0.9
	8月20日	57.8	65.4	△ 7.6
	成熟期		65.0	
主茎節数 (節)	6月20日	2.1	1.5	0.6
	7月20日	10.8	9.3	1.5
	8月20日	15.0	13.4	1.6
	成熟期		13.4	
分枝数 (本/株)	7月20日	3.5	4.4	△ 0.9
	8月20日	3.5	4.6	△ 1.1
	成熟期		4.5	
着莢数 (莢/株)	8月20日	64.7	55.6	9.1
	成熟期		53.9	
一莢内粒数			5.67	
子実重	(kg/10a)		291	
百粒重	(g)		12.4	
屑粒率	(%)		2.9	
品質	(等級)		3下	
子実重平年対比	(%)		100	

注) 平年値は前7カ年中、平成20年(最豊)、平成25年(最凶)を除く5カ年平均。

## 5. ばれいしょ

5月20日作況：平年並

事由：本年の根雪終は平年より2日早い3月30日（融雪剤散布）で、4月中旬以降少雨に推移して圃場の乾燥が進み、植付期はほぼ平年並の4月28日であった。4月下旬から5月上旬にかけて気温は平年より高く推移し、萌芽期は平年より4日早い5月19日であった。

以上により、現在の作況は平年並である。

6月20日作況：平年並

事由：6月上旬の平均気温は平年を大きく上回ったため生育は順調で、開花始は平年より5日早かった。6月20日現在で茎長は大きく上回っているが、茎数は平年よりやや少ない。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：平年並

事由：6月下旬から7月中旬にかけて干ばつ傾向で推移した。生育は早く進んで、終花期を迎えている。7月20日現在で茎長は平年を大きく上回っているが、茎数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日作況：やや不良

事由：枯凋期は平年より8日早い8月15日であった。上いも平均一個重はやや重かったが、株当たりの上いも数が少なく、上いも重は平年の90%と低収であった。でん粉価は平年より高かった。

以上のことより、本年の作況はやや不良である。

項目 \ 年次	品種名	男爵薯		
		本年	平年	比較
植付期	(月.日)	4.28	4.27	1
萌芽期	(月.日)	5.19	5.23	△ 4
開花始	(月.日)	6.17	6.22	△ 5
枯凋期	(月.日)	8.15	8.23	△ 8
茎長	6月20日	48	33	15
(cm)	7月20日	63	47	16
茎数	6月20日	4.1	4.8	△ 0.7
(本/株)	7月20日	4.7	4.4	0.3
8月20日における				
上いも数	(個/株)	-	11.9	-
上いも平均一個重(g)		-	91	-
上いも重	(kg/10a)	-	4751	-
でん粉価	(%)	-	14.9	-
枯凋期における				
上いも数	(個/株)	10.4	12.2	△ 1.8
上いも平均一個重(g)		95	91	4
上いも重	(kg/10a)	4390	4881	△ 491
中以上いも重(kg/10a)		3808	4143	△ 335
でん粉価	(%)	17.5	14.6	2.9
上いも重平年対比	(%)	90	100	△ 10
中以上いも重	〃 (%)	92	100	△ 8
でん粉価	〃 (%)	120	100	20

注) 平年値は前7か年中、平成21年(最凶)、19年(最豊)を除く5か年平均。

「上いも」は20g/個以上、「中以上いも」は60g/個以上。

本年は枯凋期が8月20日以前だったため、8月20日の調査は省略した。